

[BMW/MINI] CBS リセット (V4.68)

概要

CBS リセットの項目は以下のように表示されます。

車種	CBS 項目	手順/操作
2006y モデルまでの 1 シリーズ(E81,E82,E87,E88) 3 シリーズ(E90,E91,E92,E93) 5 シリーズ(E60,E61) 6 シリーズ(E63,E64)	エンジンオイル	『 1. リセット 』
	スパークプラグ	
	フロントブレーキ	
	リアブレーキ	
	マイクロフィルタ	
	ブレーキ液	
	車両チェック	
	法定点検(1 年点検)	『 2. 日付設定 』
	排ガス点検(車検)	
7 シリーズ(E65,E66)	エンジンオイル	『 1. リセット 』
	スパークプラグ	
	クーラント	
	フロントブレーキ	
	リアブレーキ	
	マイクロフィルタ	
	ブレーキ液	
	車両チェック	
	法定点検(1 年点検)	『 2. 日付設定 』
	排ガス点検(車検)	
その他	エンジンオイル <i>*(i3_I01 で 2015/11 より前の車両は表示されません。)</i>	『 1. リセット 』
	フロントブレーキ	
	リアブレーキ	
	ブレーキ液	
	車両チェック	
	法定点検(1 年点検)	『 2. 日付設定 』
	排ガス点検(車検)	

注意：

- フロントブレーキまたはリアブレーキのリセットを行う場合、ブレーキパッドとパッド摩耗センサを同時に交換してからリセットを行って下さい。
- F シリーズ(F01,F10,F30 など)は、車両チェックとエンジンオイルが連動しています。同時にリセットを行う場合、先にエンジンオイルをリセットしてから行って下さい。

手順/操作

1. リセット

注意： 最初に『TPM-R メニュー』の画面から
〔設定〕 - 〔時計〕を選択して、
〔日付/時刻〕を正しく設定して下さい。

設定

時計

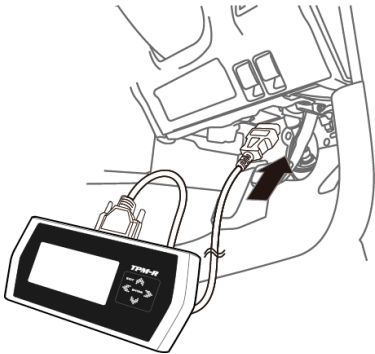
YYYY / MM / DD - hh : mm : ss

2016 / 01 / 25 09 : 18 : 11

ENTER : 確定 EXIT : キャンセル

1.

イグニションスイッチを OFF にした後、
ダイアグコネクタに TPM-R を接続します。
その後、イグニションスイッチを ON にします。



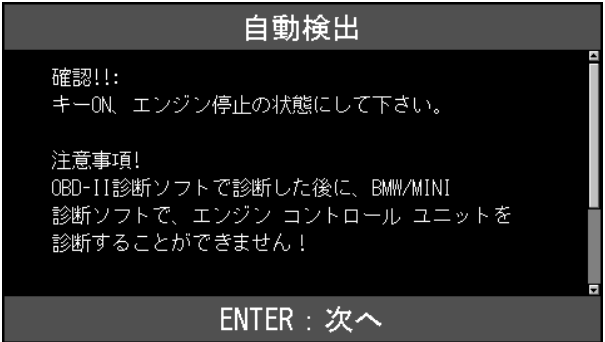
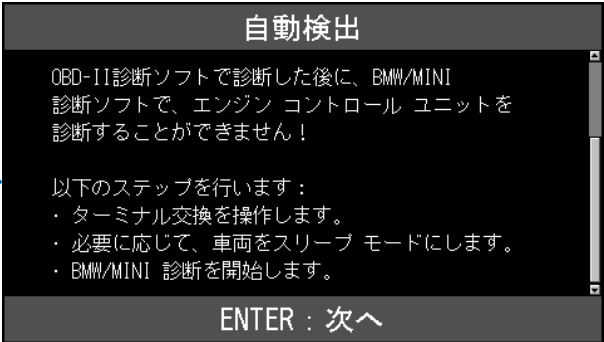
2.

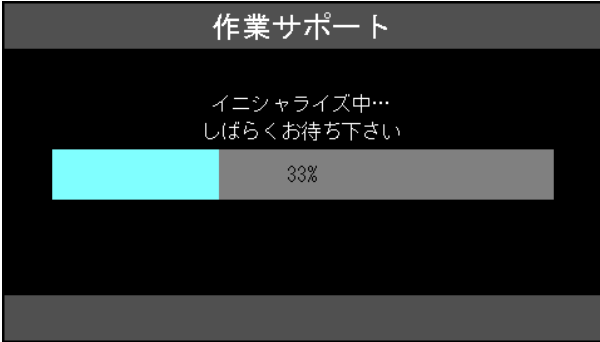
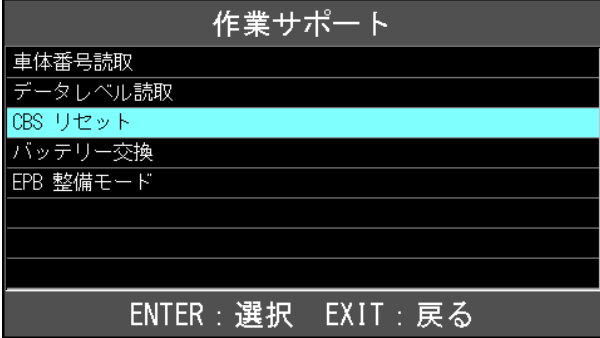
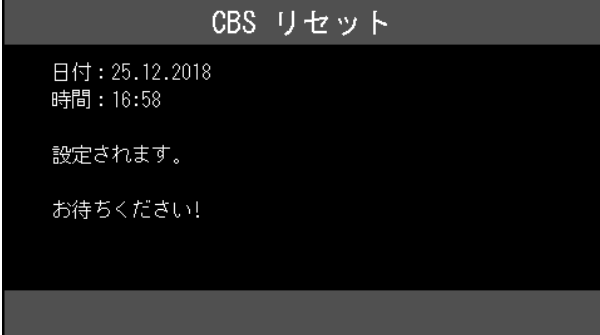
『メーカー選択』画面から 〔輸入車〕 -
〔BMW〕 または 〔MINI〕 を選択して
〔ENTER〕 を押します。

メーカー選択

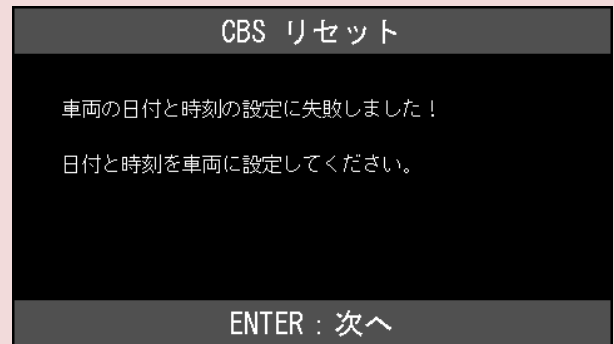
国産乗用車	VW
輸入車	AUDI
国産トラック	MERCEDES
OBDII	BMW
	MINI
	ALFAROMEO
	FIAT

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

	『車両選択』画面から 〔自動検出〕 を選択して [ENTER] を押します。 自動検出の注意画面が表示されましたら、内容を 確認してから [ENTER] を押します。	
3.		
		
4.	『BMW メインメニュー』画面から 〔作業サポート〕 を選択して [ENTER] を押します。	

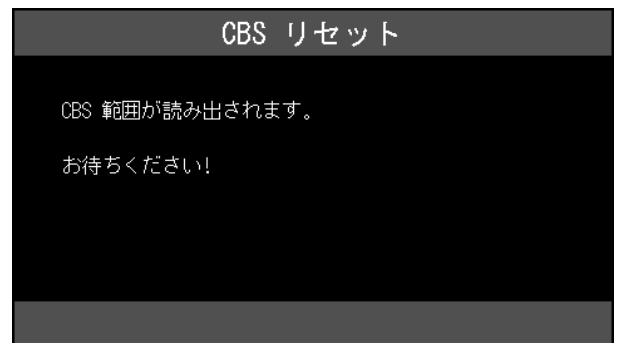
5.	車両搭載システムの確認が始まります。	
6.	『作業サポート』画面から、 〔CBS リセット〕を選択して 〔ENTER〕を押します。	
7.	車両の日付および時刻の設定画面が表示されますので、 現在の日付と時刻を入力して〔ENTER〕を押します。	
		
8.	日付と時刻の設定が開始されます。	

注意： 手順「7.」の時間設定をキャンセル、または手順「8.」の時間設定ができなかった場合に、右の画面が表示されます。その際、車両側の日付を手動で設定して下さい。



9.

CBS の状態の読取りが開始しますので、しばらくお待ち下さい。



10.

『作業サポート』画面から、リセットするCBSの項目を選択して[ENTER]を押します。CBSの項目は[上記の概要](#)に表記されていますので、参考にして下さい。

- ・車両チェックをリセットする場合：
➡ 手順「11.」
- ・フロントブレーキまたはリアブレーキをリセットする場合：
➡ 手順「12.」
- ・それ以外をリセットする場合：
➡ 手順「15.」



参考 :

- 2 シリーズ(F45,F46)、I3(I01)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキまたはリアブレーキは、右の図のようにパーセントで表示されません。パッドが正常である時は「未測定」、異常になると残りの距離が表示されます。

選択、CBS 範囲のリセット

エンジン オイル : 92 % / 14000 km / 1

フロント ブレーキ : 未算出 / 1

リア ブレーキ : 未算出 / 1

ブレーキ フルード : 88 % / 2

車両チェック : 87 % / 1

法定排気ガス点検 : 03 / 2019

§ 法定点検 : 03 / 2017

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

車両チェックのリセットを選択すると、右の注意画面が表示されますので、内容を確認してから

[ENTER] を押して、手順「15.」に

11. 進んで下さい。

*E シリーズ(E61,E87,E90 など)、I3(I01)はエンジンオイルと連動していないので、この画面は表示されません。

車両チェック :

車両チェックはエンジン オイルと関連しています。車両チェックとエンジン オイル交換を同時に行った場合、最初にエンジン オイルの CBS リセットを実施してください！

車両チェックのリセットを行いますか？

ENTER : 次へ EXIT : 中止

参考 :

- エンジンオイルのパーセントが 99% 以上でない場合は右の画面が表示されます。

車両チェック :

エンジン オイルの残存有効度が100 %ではありません。エンジン オイルは車両チェックと関連しているので、車両チェックのリセット前にエンジン オイルリセットを実行する必要があります。エンジン オイルをリセットしないと、車両チェックを100 %にリセットすることはできません。

それに関わらず車両チェックのリセットを

ENTER : 実行 EXIT : 中止

車両チェック :

エンジン オイルは車両チェックと関連しているので、車両チェックのリセット前にエンジン オイルリセットを実行する必要があります。エンジン オイルをリセットしないと、車両チェックを100 %にリセットすることはできません。

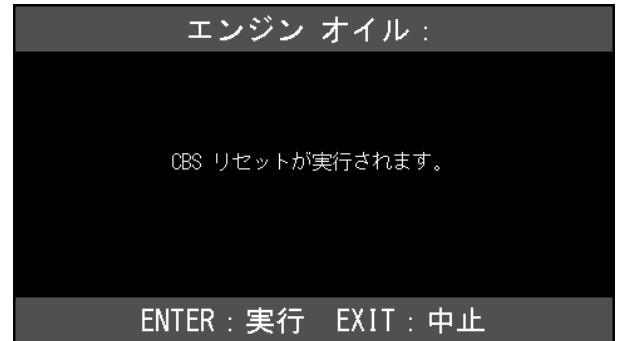
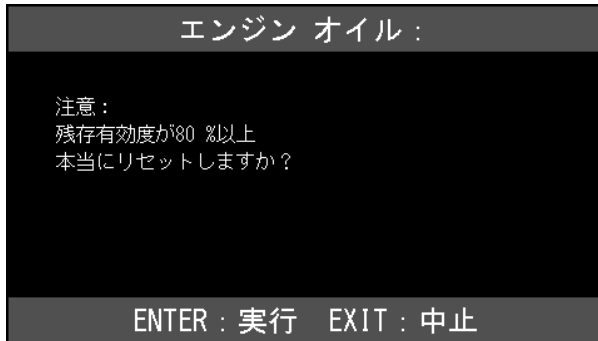
それに関わらず車両チェックのリセットを行いますか？

ENTER : 実行 EXIT : 中止

12.	フロントブレーキまたはリアブレーキのリセットを選択した場合、最初にパッドセンサの状態をチェックします。	フロント ブレーキ : イニシャライズ中… しばらくお待ち下さい
13.	センサが摩耗または故障等の異常である場合、下の画面が表示されます。 パッド摩耗センサを交換していない場合は、[EXIT] を押して中止して下さい。 交換した場合は、そのまま [ENTER] を押して下さい。	
	フロント ブレーキ : 注意！ コントロール ユニットはブレーキ パッド 摩耗センサの状態を断線ありと検知します。 リセット手順は、ブレーキ パッド摩耗センサの 交換までコントロール ユニットにより無視されます。 ブレーキ パッド摩耗センサの交換は、 ENTER : 次へ EXIT : 中止	フロント ブレーキ : ブレーキ パッド摩耗センサの交換は、 ターミナル交換後にコントロール ユニットによって 検知されます！ それでも CBS リセット手順を実行しますか？ このヒントはすべての車両で表示されるわけでは ありません！ ENTER : 次へ EXIT : 中止
14.	2 シリーズ(F45,F46)、I3(I01)、MINI(F55,F56)などのフロントブレーキ、 またはリアブレーキの状態がリセットしてから 1000 km を満たない場合、 以下の画面が表示されます。	
	フロント ブレーキ : サービス カウンター : 1 オドメーターの数値 : 29 キロメートル 最後のブレーキ パッド交換時のオドメーターの ステータス : 0 キロメートル 注意 : まだ前回ブレーキ パッドを交換してから 1000 キロメートル (621 マイル) 未満です！ ENTER : 実行 EXIT : 中止	フロント ブレーキ : オドメーターの数値 : 29 キロメートル 最後のブレーキ パッド交換時のオドメーターの ステータス : 0 キロメートル 注意 : まだ前回ブレーキ パッドを交換してから 1000 キロメートル (621 マイル) 未満です！ 本当にリセットしますか？ ENTER : 実行 EXIT : 中止

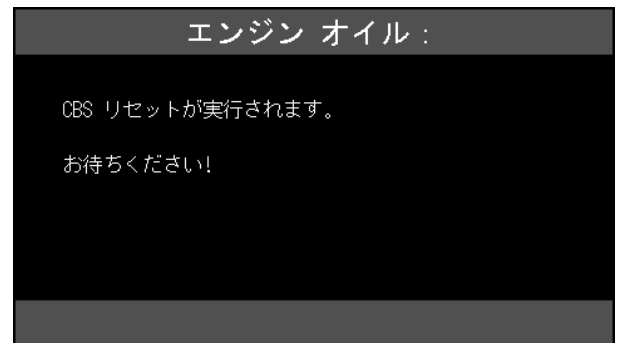
リセットを行う項目のパーセントが 80%以上ある場合左下の警告画面が表示されます。
それ以外は、右下の画面が表示されます。
リセットを行う場合、[ENTER] を押して開始して下さい。

15.



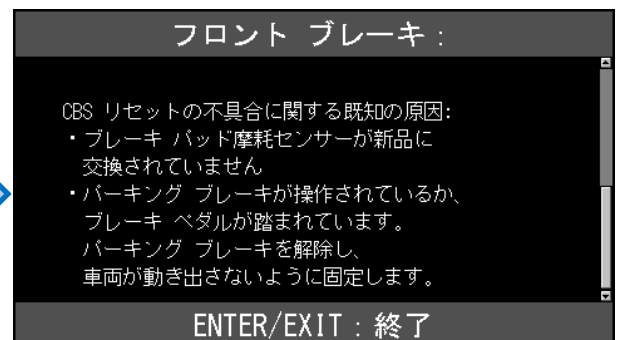
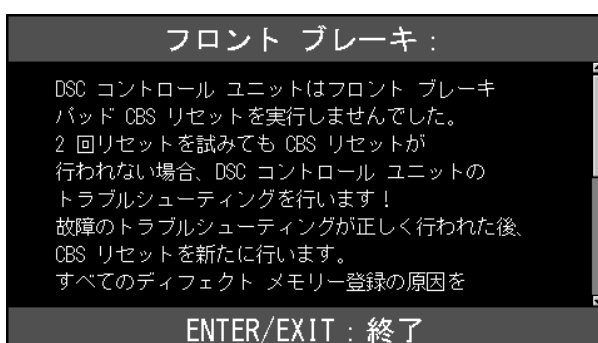
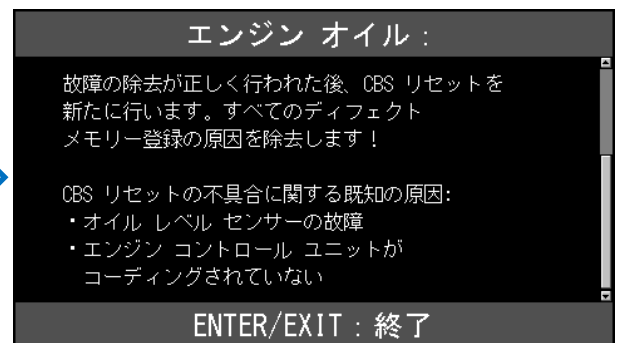
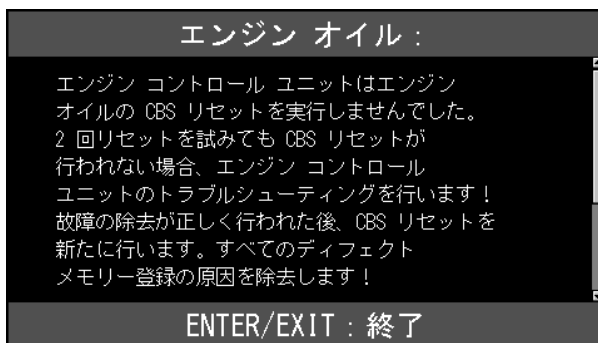
16.

CBS リセットが開始されます。
リセットが完了した場合、
手順「18.」へ進みます。



リセットが完了しない場合、以下の画面が表示されます。

17.



17.

ブレーキ フルード :

メーター パネルはブレーキ フルードの CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了**ブレーキ フルード :**

CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了**車両チェック :**

車両チェックリセット前のエンジン オイルの残存有効度が100 %であった場合以外、車両チェックリセットで満タンの残存有効度 (100 %) に届くことはできません。

車両チェックのリセットが 2 回目のリセット試行後にも実行されない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が

ENTER/EXIT : 終了**車両チェック :**

届くことはできません。

車両チェックのリセットが 2 回目のリセット試行後にも実行されない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了**スパーク プラグ :**

メーター パネルはスパーク プラグ CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了**マイクロ フィルター :**

IHKA コントロール ユニットはマイクロ フィルター CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、IHKA コントロール ユニットのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了**クーラント :**

メーター パネルはクーラント CBS リセットを実行しませんでした。2 回リセットを試みても CBS リセットが行われない場合、メーター パネルのトラブルシューティングを行います！故障の除去が正しく行われた後、CBS リセットを新たに行います。すべてのディフェクト メモリー登録の原因を

ENTER/EXIT : 終了

18.	リセット後の状態の読取りが開始しますので、しばらくお待ち下さい。	CBS リセット CBS 範囲が読み出されます。 お待ちください!
19.	右の画面になりましたら、リセットした項目の値が 100%にリセットされているか確認して下さい。 *車両チェックは 99%で リセットされる場合があります。	選択、CBS 範囲のリセット エンジン オイル : 100 % / 25000 km / 10 フロント ブレーキ : 98 % / 5 リア ブレーキ : 98 % / 3 ブレーキ フルード : 91 % / 10 車両チェック : 93 % / 5 法定排気ガス点検 : 10 / 2017 法定点検 : 10 / 2016 ENTER : 選択 EXIT : 戻る

2. 日付設定

「[1. リセット](#)」の 1～10 迄進めて下さい。

1.

日付設定をする CBS 項目を選択して
[ENTER] を押します。
CBS の項目は[上記の概要](#)に表記されて
いますので、参考にして下さい。

選択、CBS 範囲のリセット
エンジン オイル : 92 % / 14000 km / 1
フロント ブレーキ : 未算出 / 1
リア ブレーキ : 未算出 / 1
ブレーキ フルード : 88 % / 2
車両チェック : 87 % / 1
法定排気ガス点検 : 03 / 2019
§ 法定点検 : 03 / 2017
ENTER : 選択 EXIT : 戻る

- 注意 :**
- 車両側の日付と時刻が正しく設定されているか確認して下さい。
正しく設定されていない場合は、手動で日付と時刻を設定して下さい。
 - 点検時期の入力する時期は以下の設定を参考にして下さい。
 - 法定点検(1 年点検、初年度登録時から 1 年目のみ) ⇒ リセットする日付 + 1 年
 - 法定点検(1 年点検)、排ガス点検(車検) ⇒ リセットする日付 + 2 年

2.

右上画面が表示されましたら、日付の月を入力して、[ENTER] を押します。
日付の入力を間違えると右下の画面に切替わります。
(例 : 13 と入力した場合)

§ 法定点検 :
月 (1~12) を入力してください :
03
▲▼ : 番号選択 ⬅➡ : 左右選択
ENTER : 決定 EXIT : キャンセル
法定車両点検の修正
入力値が間違っています
EXIT : 戻る

3.	右上画面が表示されましたら、日付の年を2018～2061 までの間で、下 2 桁を入力して、[ENTER] を押します。 日付の入力を間違えると右下の 2 つの画面に切替わります。 (例 1 : 17 と入力した場合、中の画面 例 2 : 62 と入力した場合、下の画面)	§ 法定点検 : 年 (例えば 2014 年なら 14) を入力してください : 20 ▲▼ : 番号選択 ◀▶ : 左右選択 ENTER : 決定 EXIT : キャンセル § 法定点検 : 注意 : 日付入力時のエラー 入力する日付は未来のものでなければなりません ! インプットを繰り返します ! EXIT : 戻る § 法定点検 : 注意 : 日付入力時のエラー 年の入力値は 62 (2062 年) を超過してはいけません ! インプットを繰り返します ! EXIT : 戻る
4.	入力が完了すると、入力した日付の確認画面が表示されます。正しければ、そのまま [ENTER] を押します。	§ 法定点検 : 以下の日付が入力されました : 月 : 3 年 : 2020 ENTER : 実行 EXIT : 中止
5.	CBS リセットが開始されます。	§ 法定点検 : 表示が処理されます。 月 : 3 年 : 2020 お待ちください !

6.	リセットが完了しない場合、 右の画面が表示されます。	§ 法定点検 : 表示を変更できませんでした！ ENTER/EXIT : 終了
7.	リセット後の状態の読取りが開始しますので、 しばらくお待ち下さい。	CBS リセット CBS 範囲が読み出されます。 お待ちください！
8.	右の画面になりましたら、 設定した項目の日付が正しく表示されているか 確認して下さい。	選択、CBS 範囲のリセット エンジン オイル : 92 % / 14000 km / 1 フロント ブレーキ : 未算出 / 1 リア ブレーキ : 未算出 / 1 ブレーキ フルード : 88 % / 2 車両チェック : 87 % / 1 法定排気ガス点検 : 03 / 2019 § 法定点検 : 03 / 2020 ENTER : 選択 EXIT : 戻る